



デイサービスセンター
リハビリデイ 東町

☎(0144)82-3400 月～金 9:00～17:00(祝日除)
担当：前田



作業療法士・理学療法士
等による個別機能訓練

目的に沿ったリハビリプランを作成し、ご利用者様に合った総合的な機能トレーニングを実施。



新規器具、機械を導入

「転ばずに歩く」をテーマに、様々な器具、機械を導入し、より効果的なトレーニングを実施。



トレーニング結果が一目瞭然
各種測定表を提供

現在の、お身体の状態を知って頂けるよう、検査結果は印刷してお渡します。



認知症予防
脳活性化トレーニング

機能訓練の各種プログラムに脳の活性化を図るトレーニング(デュアルタスクトレーニング)を行います。

年齢と共に筋肉や運動機能は低下します！

「歩ける(動ける)を、
続けるために」

天然温泉(男女別)



機能訓練室



カラオケルーム



足湯(人工炭酸水)



レストラン方式の昼食
(メニューの中から好きな料理を選択)



ゲームリハ(ポケットボール)



白老高齢者複合施設

☎(0144)82-2200

白老町東町2丁目4-12 白老高齢者複合施設 検索

- ◆介護付有料老人ホーム花つむぎ
- ◆グループホーム和花
- ◆リハビリデイ東町
- ◆居宅介護支援事業所白老

元気のつぼき

仙台七夕

の観点からでしょうが、ついでに「山、川、海と白老の自然は素晴らしく、なんと温泉もあります。土地の者たちも非常に穏やかです」とも言ったのでしようか▼翌年3月にはいよいよ元陣屋の築城工事が始まったのでした。しかし、慣れない気候風土によって藩士たちに多数の病死者が出、警備には膨大な費用が必要なのに連年の凶作でひっ迫する藩財政、さらには開国、大政奉還、新政府の樹立と進む歴史の大きなうねり。仙台藩、白老の藩士たちの運命はいかに？(パンパンパン)。では、次回お楽しみに▼この歴史的な縁を機に、時を経た昭和56(1981)年5月、白老町と仙台市は歴史姉妹都市提携を仙台市役所で交わしました。以後両市町の交流は、さまざまな分野の団体や小中学校などを軸に絆を深め、今年40周年の節目に当たります。役場は記念式典・行事で祝おうと考えていましたが、嗚呼コロナ禍▼多くの企画は目の見えないままですが、元陣屋資料館が40周年を記念する特別展を開催中です。「仙台藩ゆかりのD.A.T.E.な工芸展」と銘打ち、国指定伝統的工芸品の仙台簞笥や、県指定工芸品の仙台御筆、仙台張子松川だるま、堤焼など約60点を展示しています▼「ねえねえ、どうしてだるまが群青色で、お腹の絵柄は福の神なの？」「ねえねえ、どうして仙台簞笥はこんな小さいのに高価なの？」「これらチョコちゃん風な質問に「それはね…」とにっこり顔で丁寧に答えてくれるのが、同資料館のT館長。実はT館長に学生時代に自費になった旅費で事前に同市に足を運び、博物館や結果的に自費になった旅費で事前に行った。この企画の実現にあたり、県・市教委、職人組合などを訪ね話をつけてきましたが「地元でもすごく喜んでくれて輪が広がった」と苦労のかけがえがなかったようです。展示品の多くも自身が運転するワゴン車で運んできました。「さすがにこれは無理でした」と笑うのが、展示コーナーの中央で華やかさを演出している仙台七夕飾り。丈3mほどの竹に来場者が書いた短冊が飾られています。「卓越した職人の技、美意識を夏休みの子どもたちや町民の方にぜひ鑑賞していただきたい」と来場を呼び掛けています。8月15日まで。町民無料。(竹)

▼(講談風に)時は安政2年6月、ロシアの蝦夷地侵略を危惧していた仙台藩は、三好武三郎監物に出入司兼公儀を命じて蝦夷地調査に遣わしました(パンパン：張り扇の音)。さぞ気合いが入ったことでしょう。いや、「嫌なお役目を押し付けられちゃったなあ」とぼやいていたのでしょうか▼何ともあれ、この年の10月、無事役目を終えた監物さん、藩に戻り奉行片倉小十郎らが見守る中、藩主に報告をしたのでした。当然、北方警備

白老町の人のうごき

総人口 16,174人(前月比33人減)
男 7,669人 女 8,505人
世帯数9,383世帯(前月比11世帯減)
(令和3年6月30日現在)

■編集 広報元気編集室(一般社団法人しらおい振興センター 白老町大町1丁目1番1号)
TEL 0144-82-8367 FAX 0144-82-8368 Eメール koho@shiraoi-genki.jp

■発行 白老町企画財政課(白老町大町1丁目1番1号)
TEL 0144-82-2714 FAX 0144-82-4391 Eメール kikaku@town.shiraoi.hokkaido.jp